

標題

Denmark 籍船に搭載されるイマーションスーツの搭載について

ClassNK

テクニカル インフォメーション

No. TEC-0714

発行日 2007 年 11 月 1 日

各位

デンマーク政府より当該国籍船に搭載されるImmersion suitsに関しまして、以下の通り通知されましたのでお知らせ致します。

1. 定員分のイマーションスーツは、安全設備証書 Form E に明記された最大搭載人数分を、各人に1つずつ備える。イマーションスーツはLSAコードに従った承認品で、また、各人に適したサイズとし、さらに、断熱性と浮力性を有するものでなければならない。
2. 追加のイマーションスーツは原則船橋と機関室に各 2 つ備える。ただし、船橋及び機関室においてはそれぞれ以下を考慮する。
 - (1) 船橋において以下を考慮する。
 - (i) 船橋が比較的狭い船舶で、通常イマーションスーツが収納されている場所の近傍に位置している(船橋当直者及び他の乗組員が船橋からイマーションスーツ収納場所に容易に近づきやすい)場合には、船橋へ追加のイマーションスーツは備える必要はない。
ここで、「通常イマーションスーツを収納する場所」としては 5.に示す場所が推奨される。
 - (ii) 船橋の代替場所として船橋以外の場所をイマーションスーツの収納場所に選択する場合には、船主は船橋にイマーションスーツを備えたのと同等の安全性が確認できていることを証明する文章を提示しなければならない。
 - (2) 機関室において以下の条件を満たすならば、備えるイマーションスーツは 2 個でなくともよい。
 - (i) 機関室が 1 区画の部屋から成る場合(制御室と機関室が別で、制御室が居住区内にある場合等)
かつ
 - (ii) 通常イマーションスーツが収納されている場所が機関室の上方 1Deck 以内に位置している場合
かつ
 - (iii) 機関室に備えられたイマーションスーツの数が通常機関室で作業する人数分備えられている場合
3. SOLAS III Reg.III/31.1.4 で要求される追加の救命いかだには最低 2 個のイマーションスーツを備える。
4. 通常海上において離れた作業場所で作業が行われるような船舶は、該当作業場所にイマーションスーツを備える。ここで「離れた場所」とは通常イマーションスーツが収納される場所から水平距離で 100m を超える場所をいう。

(次頁に続く)

NOTES:

- ClassNK テクニカル・インフォメーションは、あくまで最新情報の提供のみを目的として発行しています。
- ClassNK 及びその役員、職員、代理もしくは委託事業者のいずれも、掲載情報の正確性及びその情報の利用あるいは依存により発生する、いかなる損失及び費用についても責任は負いかねます。
- バックナンバーは ClassNK インターネット・ホームページ(URL: www.classnk.or.jp)においてご覧いただけます。

5. イマーシブスーツの収納場所はできる限り非常召集場所の側で湿気及び荒天から保護されている場所でなければならない。居住区内に備える場合は出入り口までの距離が最小となるように配置すること(例えば、居住区内の“storage locker”等)。この代わりとして、Deck 上の箱内に収納することも認められる。
6. ばら積み貨物船以外の温暖海域(MSC/Circ. 1046, Guidelines for the assessment of thermal protectionによる北緯30度と南緯30度の間)を専ら従事する船舶はイマーシブスーツが要求されない。

なお、本件に関してご不明な点は、以下の部署にお問い合わせください。

財団法人 日本海事協会 (ClassNK)

本部 管理センター 材料艀装部

住所: 東京都千代田区紀尾井町 4-7(郵便番号 102-8567)

Tel.: 03-5226-2020

Fax: 03-5226-2057

E-mail: eqd@classnk.or.jp